

ファッション
パーフェクト

April 2009

Vol. 1

FN

we

Love

Models!

特集

今、知りたいモデルのすべて

世界一マニアックなコレクションマガジン

春夏トレンド完璧保存版 2009

敏腕キャスティングディレクター、ダニエル・ペドルに聞く 今ファッション界が求めるモデル像とは？



「アンテプリマ」のバックステージで、モデルのクリスタル（左）とジョージに囲まれて

ニューヨークをベースに活躍するダニエルは、今ファッション業界で最もアツイといわれるキャスティングマンだ。今シーズンも「アンテプリマ」や「C'N'C コスチューム ナショナル」を始め、多くのショーのキャスティングを手掛けた。「映像を学んだニューヨーク大学時代、作品を撮るにあたりモデルになってくれる人を街でハントしたのがきっかけでした。モデルエージェントをしている友人に、ファッションの分野でチャレンジしてみたら？と勧められて、今に至ります」。今シーズン、気になったのは「トムボーイ・ルック。マスキュリンな顔、というわけではなく、エレガントでありながらどこかハードな要素を持ち合わせた女の子が求められている気がします。それと大きな流れとしては、人種的にあいまいなモデルが目立っているようです。男女ともに、ひとつの国や人種に当てはめられないルックスの需要が高くなってきています。たとえば、イブリナ（・マンベトヴァ）（写真右上）。彼女はぱっと見ただけではどこの出身かわからないでしょう？今、モダン

なショーをするために全員を全髪碧眼で撮るのは無理があると思うんです。でもそういった美学を持つデザイナーはまだ多い。もちろん、彼らの目標に到達する手助けはしますが、僕自身、それは今の時代性に合ったことではないのではと感じます」。アーティストでもあるダニエルにとって、アートとファッションは切っても切れない関係だという。「映像においても写真においてもランウェイにおいても、目を引く時代の“顔”は同じ。クリエイティビティを感じさせる人物像が気になります」。その中でも性格のよさは重要なファクターになってくる。「ヴィジョンがしっかりしていて、一緒にいて楽しいモデルとは長く仕事したくなりますね。マグダレナ（・フラコウィアク）やアルレニス（・ソーサ）が特にお気に入りです」。

